

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価計画

達成度(評価)
 A:十分達成できている
 B:おおむね達成できている
 C:やや不十分である
 D:不十分である

学校名	唐津市立西唐津中学校
1 前年度 評価結果の概要	生徒の学力向上と、時間を意識して場に応じた言動をとれる生徒の育成が必要である。まず、小中連携の研究指定を活用して「学力向上」のために小中で共通した学習規律の確立を図り、授業においては指導法の研修を深め、教師の指導力及び生徒の学力向上を図っていく。また、家庭学習の充実のために保護者に生徒の実態を把握してもらい、危機感を感じながら家庭の協力を得られるようにする。家庭やPTAと連携の強化を図りながら全ての職員が共通理解のもと、基本的生活習慣の定着を図るとともに生徒会の取組についてもさらに充実させていく。
2 学校教育目標	自他の「いのち」を尊び、主体的に学び・行動する生徒の育成 ～基礎・基本の定着を図りながら～
3 本年度の重点目標	1 学力の向上 2 生徒指導の充実 3 人権意識の高揚 4 働き方改革の推進

4 重点取組内容・成果指標 中間評価 5 最終評価

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践 ○基礎学力の向上に向けた授業実践 ○補充学習(朝学習、Nタイム)の実施	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師70%以上 ○基礎問題の理解度70%以上 ○朝学習の合格者70%以上	・教職員間でマイプランを共有するとともに、校内研修等により取組の促進を図る。 ・ポイントが明確な授業づくりをする。 ・朝学習で、英語、数学の基礎問題を徹底して取り組む。その他の教科についてはNタイムで補充する。			
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 ●いじめの早期発見、早期対応体制の充実 ○(学校独自重点取組・任意)	○道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした生徒70%以上 ○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていると回答した教員90%以上 ○	・ITによる道徳授業を組むことで、生徒のささやきをひろい、思考を深める。 ・生徒が様々な意見を出しやすい雰囲気をつくる。 ・いじめの認知・認知時の連絡・連携体制を整える。 ・いじめに気付く力を身に付けるための研修会を年間1回以上開催する。							
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」 ○(学校独自重点取組・任意)	●「健康に食事は大切である」と考える児童生徒85%以上 ○朝食を食べる割合90%以上	・食育講演、魚さばき体験等を活用して食への関心を高める。 ・各学級一回は学活の時間に食育指導を行う。							
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減 ○(学校独自重点取組・任意)	●教育委員会規則に掲げる時間外在職等時間の上限を遵守する ○(学校独自成果指標・任意)	・定時退勤日の設定。 ・部活動休業日の設定と確実な実施。 ・会議のペーパーレス化、文書等の共有化での会議、事務の効率化を図る。							

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				○	○自己の目標をもって生き生きと活動できる生徒の育成を目指したキャリア教育の実践	○学校生活に関するアンケートで、学校生活や部活動で目標を持って活動していると回答をした生徒70%以上	・職業講話、進学説明会、体験活動等を計画的に設定する。			
○	○教員の意識の向上	○特別支援教育の視点を取り入れた教育活動上の工夫を、各自3つ以上実践する	・特別支援に関する研修会の実施。 ・ケース会議の実施、情報共有。 ・教育活動上の工夫の例示。							
○	○(学校独自重点取組・任意)	○(学校独自成果指標・任意)								

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	
--------------------	--